
令和元年度 事業報告書

社会福祉法人 豊後大野市社会福祉協議会

社会福祉法人豊後大野市社会福祉協議会
令和元年度事業報告書

支えあいのまち 笑顔ひろがるまち

I. 総括

全国的に少子・高齢化に歯止めがかからず、経済情勢や社会情勢は依然厳しく、高齢者対策はもちろん困窮者対策や子育て家庭への支援など、様々な課題が山積されている。

豊後大野市も例外でなく、様々な課題について地域での支え合い活動により、地域で少しでも解決できるよう進めているが、担い手の育成や市民への啓発や説明などを十分に行えておらず、これからも重点的な取り組みとして進めていく必要がある。

経営的には依然厳しい状況には変わらないが、単年度決算では黒字の結果となった。介護保険事業所等の統廃合や、受託事業の委託費などの見直しによるものだと考える。

また、年明けからの世界中で広まった新型コロナウイルスの感染により、本市でも外出の自粛が求められ、サロンや介護予防教室の参加者の閉じこもりにより健康維持ができない課題が発生した。根本的な解決方法は見いだせずにきている。サービス利用者はもとより、サービス未利用者への対応について今後も対応が必要だと感じられる。

Ⅱ. 重点施策報告

1. 生活支援体制整備事業（地域支えあい事業）の推進

- ・地域支え合い応援隊や地区社協と協働により支え合い事業の構築と推進について協議を進めた。旧小学校校区や自治会単位で行われている支え合い活動についての把握もでき、今後の支援と他の地域への展開について協議を行った。

2. 地域共生社会の実現のための協議

- ・市役所主導の地域共生社会の実現のための地域連携会議に参加し、複合する様々な課題についての解決を市役所関係部署と作業部会を設置して図った。特に生活支援体制整備と成年後見制度に関する内容については、それぞれの作業部会に属し協議を進めた。

3. 相談支援事業の一本化

- ・市役所内に配置していた地域福祉課くらし支援係について、機構を見直し地域福祉課から独立したくらし支援センターとした。また、地域包括支援センターとくらし支援センターをあわせ総合相談センターと名称を定め、専任のセンター長を配置し相談業務の充実と市役所関係部署との連携を図った。

4. 介護保険事業所の効率化とサービスの維持

- ・人口の減少や他法人事業所の台頭などで、介護保険事業の先行きが不透明な中、社協が経営する各事業所について、半期ごとの経営分析を実施し適切な経営が図れるよう進めた。赤字傾向の事業所については、今後の在り方を管理者・主任会議等で協議をした。

5. 財政基盤の強化

- ・本年度決算では、事業所の統廃合や赤字受託事業の市との協議などにより 1,500 万円を超える黒字の結果となった。中期財政計画終了年度で計画の遂行により、計画策定前に見込まれていた大幅な赤字については解消できた。

Ⅲ. 具体的内容報告

1. 総務課

法人運営・財務人事係

(1) 法人運営

①理事会・評議員会・監査会・評議員選任解任委員会等

【理事会】

開催年月日	議案事項
第1回 R01.06.12 (出席 11/13名)	第1号議案 平成30年度事業報告書について 第2号議案 平成30年度収支決算書について ～監査報告～ 第3号議案 令和元年度第1次収支補正予算(案)について 第4号議案 評議員の辞任に伴う新評議員候補者推薦について 第5号議案 令和2年4月採用 職員募集要項(案)について 第6号議案 令和元年度第1回評議員会の招集について
第2回 R01.06.26 (出席 10/13名)	第1号議案 会長及び副会長、常務理事の選定について
第3回 R01.11.29 (出席: 11/13名)	第1号議案 令和元年度中間事業報告書について 第2号議案 令和元年度中間収支決算書について ～監査報告～ 第3号議案 令和元年度第2次収支補正予算(案)について 第4号議案 令和元年度第2回評議員会の招集について
第4回 R02.03.10 (出席: 11/12名)	第1号議案 令和元年度第3次収支補正予算(案)について 第2号議案 給与支給規程の一部改正について 第3号議案 契約職員就業規則の一部改正について 第4号議案 会員規程の一部改正について 第5号議案 令和2年度事業計画(案)について 第6号議案 令和2年度収支予算(案)について 第7号議案 令和2年度事務局体制について 第8号議案 令和元年度第3回評議員会の招集について

【評議員会】

開催年月日	議案事項
第1回 R01.06.26 (出席 12/17名)	第1号議案 平成30年度事業報告書について 第2号議案 平成30年度収支決算書について ～監査報告～ 第3号議案 令和元年度第1次収支補正予算(案)について 第4号議案 任期満了に伴う役員(理事・監事)の選任について
第2回 R01.12.19 (出席 13/17名)	第1号議案 令和元年度中間事業報告書について 第2号議案 令和元年度中間収支決算書について ～監査報告～ 第3号議案 令和元年度第2次収支補正予算(案)について
第3回 R02.03.26 (出席 15/17名)	第1号議案 令和元年度第3次収支補正予算(案)について 第2号議案 令和2年度事業計画(案)について 第3号議案 令和2年度収支予算(案)について

【監査会】

開催年月日	監査結果等
第1回 R01.05.31	平成30年度の監査を実施 特に指導・指摘等の事項はなし。
第2回 R01.11.21	令和元年度上半期の監査を実施 特に指導・指摘等の事項はなし。

【評議員選任・解任委員会】

開催年月日	内 容
第1回 R01.06.13 (出席 4/5名)	選出母体の役職交代に伴う評議員の選任について、9名の候補者について選任を決定する。

【役員による施設巡視】

開催年月日	内 容
R02.02.07 (参加者6名)	役員による支部、事業所の巡視を実施した。支部、事業所の施設の状況、事業進捗の状況を各担当より説明を受けた。

②事務局運営

【事務局会議】

開催年月日	内 容
H31.04.08～R02.03.26 (合計25回開催)	役員(会長、常務)と管理職員10名の月2回の頻度で合計25回開催し、事業計画に定めた事業の進め方、事務の取扱い等について協議・決定した。

【職員研修】

開催年月日	内 容
第1回 R01.11.19 (参加 41人)	正規職員を対象に「社会福祉協議会の役割と今後の取り組みについて」をテーマに県社協の事務局長の講義を受けた後、「地域課題とその対応について」グループワークを実施し、今後の事業推進の参考とした。
第2回 R02.2.28～3.13 (参加 93人)	市の人権・部落差別解消推進課へ依頼し、当初は全職員対象の全体研修として人権研修（講和とビデオによる研修）を予定したが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため支部ごとの分散研修（資料とビデオの視聴）とした。

③財政基盤強化

【中期財政計画推進委員会】

委員会の開催はなし。平成31年度が5か年計画の最終年度となるため、5年間の状況について理事会において報告を行う。

【社協会費】

(単位：円、戸)

項目	三重	清川	緒方	朝地	大野	千歳	犬飼	合計	
一般会費	金額	1,708,500	433,200	800,650	690,000	619,500	366,500	536,000	5,154,350
	会員	1,694	431	797	690	622	366	535	5,135
特別会費	金額	296,000	28,000	60,000	26,000	80,000	8,000	98,000	596,000
	会員	98	13	25	13	40	4	33	226
合計	金額	2,004,500	461,200	860,650	716,000	699,500	374,500	634,000	5,750,350
	会員	1,792	444	822	703	662	370	568	5,361
加入率	27.8%	55.8%	40.9%	71.5%	43.3%	52.9%	43.9%	38.9%	

平成30年度(参考)

(単位：円、戸)

項目	三重	清川	緒方	朝地	大野	千歳	犬飼	合計	
一般会費	金額	1,745,000	441,000	826,680	770,500	668,200	396,000	536,800	5,384,180
	会員	1,730	435	819	769	656	382	532	5,323
特別会費	金額	271,000	24,000	92,000	44,000	83,000	6,000	90,000	610,000
	会員	86	11	33	14	24	3	29	200
合計	金額	2,016,000	465,000	918,680	814,500	751,200	402,000	626,800	5,994,180
	会員	1,816	446	852	783	680	385	561	5,523
加入率	27.9%	55.5%	41.8%	77.4%	43.3%	54.1%	42.9%	39.6%	

【寄付金】

(単位：円、件)

項目		三重	清川	緒方	朝地	大野	千歳	犬飼	合計
一般寄付	金額	1,783,805	395,000	1,244,917	566,122	900,000	335,000	428,000	5,652,844
	件数	103	20	57	29	39	24	27	299
指定寄付	金額	0	0	248,000	0	0	0	0	248,000
	件数	0	0	2	0	0	0	0	2
合計	金額	1,783,805	395,000	1,492,917	566,122	900,000	335,000	428,000	5,900,844
	件数	103	20	59	29	39	24	27	301

④広報事業

事業	内容
広報紙の発行	全戸配布で年5回発行した。
ホームページ	随時最新情報を更新した。

⑤その他

【監査等】

監査名等	内容
県による朝地児童館監査	R2.2.13 指導・指摘事項は特になし

【職員の状況】

(単位：人)

区分	男	女	計
正規職員	18	22	40
契約職員	9	89	98
計	27	111	138

(2) 児童館事業

(単位：人)

区分	朝地児童館	朝地放課後児童クラブ	計
登録者数	5	42	47
延利用者数	437	4,937	5,374

(3) 施設管理

施設・支部名	管理区分	期間等
三重農村環境改善センター	指定管理	H29.4 から R2.3 まで 開所日数：280 日 延利用者数：2,924 人
清川高齢者生活福祉センター等	指定管理	H31.4 から R4.3 まで
緒方支部（緒方支所）	無償貸与	毎年更新
デイサービスセンター悠々	指定管理	H31.4 から R4.3 まで
朝地憩いの村	指定管理	H31.4 から R4.3 まで
大野ふれあい	無償貸与	H27.4 から R3.3 まで
千歳支部（千歳支所）	無償貸与	毎年更新
犬飼高齢者生活福祉センター等	指定管理	H31.4 から R4.3 まで
地域包括支援センター（市役所）	無償貸与	毎年更新

在宅福祉係

【共通事項】

事業所管理者・主任会議の開催	ヘルパーステーション 2回開催 (R1.9.17、R1.3.23) デイサービスセンター 3回開催 (R1.7.6、R1.10.11、R2.1.23)
収支分析	半期ごとに事業所の収支分析事業を行い、適正な収支状況を確認した。
職員の資質向上	分野ごとの外部研修を受講と正規職員を対象とした組織人としての在り方について研修した。
模擬実地指導監査	法に基づいた適切な事業推進を確認のため、模擬実地指導監査を行った。

(1) ケアプランセンター

(単位：件)

区 分	ケアプラン作成数	
	令和元年度	平成 30 年度
介 護	4,072	4,373
予 防	757	845
総合事業	473	477
合 計	5,302	5,695

(2) ヘルパーステーション

(単位：人)

区 分	実人員		延訪問回数	
	令和元年度	平成 30 年度	令和元年度	平成 30 年度
介 護	173	149	13,982	16,774
総合事業	91	70	4,001	3,751
障がい者居宅介護	10	10	1,390	1,249
自費サービス	6	3	127	53
合 計	280	232	19,500	21,827

(3) デイサービスセンター

(単位：人)

区 分		実人員		延利用人員	
		令和元年度	平成 30 年度	令和元年度	平成 30 年度
地域密着型 通所介護	みつば苑	48	45	2,979	2,688
	悠々	40	39	2,096	2,510
	憩いの村	58	36	2,620	2,035
	創寿苑		17		1,371
	あけぼの	48	40	2,714	2,475
	計	194	177	10,409	11,079
総合事業	みつば苑	17	20	546	728
	悠々	29	31	1,394	1,509
	憩いの村	38	39	1,780	1,755
	創寿苑		4		121
	あけぼの	19	18	803	806
	計	103	112	4,523	4,919
合 計	みつば苑	65	65	3,525	3,416
	悠々	69	70	3,490	4,019
	憩いの村	96	75	4,400	3,790
	創寿苑		21		1,492
	あけぼの	67	58	3,517	3,281
	計	297	289	14,932	15,998

【運営推進会議】

事業所	開催日	
デイサービスセンターみつば苑	R1.9.24 出席者：9名	R2.3.10 出席者：10名
デイサービスセンター悠々	R1.9.20 出席者：10名	R2.3.16 出席者：10名
デイサービスセンター憩いの村	R1.9.12 出席者：10名	R2.3.12 出席者：9名
デイサービスセンターあけぼの	R1.9.12 出席者：10名	R2.3.12 出席者：10名

(4) 生活支援ハウス

(単位：人、日)

区 分		実人員		延入居日数	
		令和元年度	平成 30 年度	令和元年度	平成 30 年度
清 川		11	9	3,017	3,005
朝 地		8	9	2,435	2,595
千 歳			3		721
犬 飼		10	9	2,078	2,368
合 計		29	30	7,530	8,689

(5) 元気クラブ

(単位：人)

区 分	実人員		延入居日数	
	令和元年度	平成 30 年度	令和元年度	平成 30 年度
清 川	9	7	324	245
緒 方	13	24	511	612
朝 地	27	24	782	564
大 野	35	18	1,145	703
犬 飼	11	12	452	399
合 計	95	85	3,214	2,523

※令和2年3月分は、コロナ感染予防のため電話での確認をカウントしている。

2. 地域福祉課

地域福祉係

(1) 地域福祉事業

①各町での取り組み状況

町	内 容
三重町	<ul style="list-style-type: none"> ・地区社協を中心に開催した三者合同会議やネット会議を通じて自治委員、民生児童委員、福祉委員、サロン代表者、老人クラブ等とも連携ができ、地域の現状を共有することが出来た。 ・サロンについては連絡会や個別にサロンへ伺うことで継続的に支援を行った。
清川町	<ul style="list-style-type: none"> ・地区社協を中心に、各種団体と連携して「ふれあい福祉まつり」の開催、「ふれあい長寿弁当」の配布を実施し、地域住民同士のふれあいの場を提供。 ・3者（自治委員・民生児童委員・福祉委員）合同会議の実施。 ・サロン全体会（年2回開催）。
緒方町	<ul style="list-style-type: none"> ・自治会ごとに小地域ネットワーク（あんしん訪問）の活動を展開し、見守り対象者の状況確認を行い、その後、情報共有や地域課題の把握に努めた。 ・おがたサロンの会を中心に、地域の集いの場の充実に努めた。（サロンリーダー研修会、ステップアップ教室、サロン対抗ペタンク大会）また、「サロンで延ばそう健康寿命」と題して、10サロンで座談会を開催し、地域の見直しを行い、地域資源と地域課題の把握ができた。
朝地町	<ul style="list-style-type: none"> ・町内のサロンと老人クラブの10か所を地区社協の構成員さんと訪問して、何に困っているのか等の聞き取り調査を行なった。その結果を踏まえ、次年度に向けて支え合いの取り組み方を考えて行くようにしている。 ・サロンリーダー研修1回
大野町	<ul style="list-style-type: none"> ・サロンの継続的な運営と充実した活動ができるよう支援した。（サロンリーダーのつどい 年2回） ・地区社協や民生児童委員など関係団体との連携を図り高齢者の見守りや現状と課題の把握、地域支え合いの醸成に努めた。（もしもしお元気ですか活動交流会・ひとり暮らし高齢者こころの花束配付事業ほか）
千歳町	<ul style="list-style-type: none"> ・地区社協中心に支所や他の団体や機関と必要時協議・合同研修を行いながら横の連携を重視して活動をすすめてきた。 ・小地域のネットワークの構築のため、民生委員・福祉委員・自治委員さんが連携しやすい環境の支援を行った。
犬飼町	<ul style="list-style-type: none"> ・自治委員・民生児童委員・福祉委員との三者合同会議で関係機関と連携し地域課題の把握や解決への模索 ・サロン活動の支援で独自のボランティア講師の登録やリーダー研修会での支え合いの勉強会 ・小地域ネットワーク(4地区)の継続・新地域支援への呼びかけ（地区社協と共に） ・独居老人・児童との交流や鶏飯配布活動

②地区社会福祉協議会（地区社協）運営支援

項 目	内 容
地区社協の運営支援・助成	<ul style="list-style-type: none"> ・市社協会費を活用し、運営費及び事業費の助成を行った ・事務局としての支援
地区社協連絡会の開催	町ごとの特色ある事業を実施しているが、生活支援体制整備事業や地域共生社会の実現に向けた取り組みをさらに進めるために、地区社協会長による意見交換会を実施した。

③-1 生活支援体制整備事業

項 目	内 容
1 層協議体への参画および第 2 層協議体の運営（後方支援）	<ul style="list-style-type: none"> ・第 1 層協議体役員会（4 回） ・第 1 層協議体「ささえあい応援隊」（2 回） ・各地区社会福祉協議会（15 回） ・地区社協会長連絡会（1 回）
社会資源や地域課題の把握、住民ニーズの分析等の地域アセスメントの実施	<ul style="list-style-type: none"> ・地域資源調査および各町「集いの場・通いの場」作成 ・生活実態調査分析作業（2 地域） ・地域ケア会議運営検討会（11 回）
支え合いの地域づくりに向けた住民への働きかけ及び支え合いの地域づくりの実践	<ul style="list-style-type: none"> ・民児協、ボラ連、老人クラブ、サロン等の会議参加・講話（18 回） ・三重地区福祉ネット会議（7 回） ・福祉委員説明会および自治委員、民生委員との三者合同会議（5 回） ・市場一区泉助っ人隊への支援協力（10 回） ・かみおがたサポートセンター「ふれあい」への支援協力（32 回） ・サロン地域座談会モデル事業（12 回） ・先進地域への視察（2 回）
生活支援コーディネーターの質の向上と連携の強化（行政・包括含む）	<ul style="list-style-type: none"> ・生活支援体制整備事業に係る職員学習会 ・竹田市社協 SC と豊後大野市 SC との合同研修会 ・竹田市社協 SC 実地研修（9 回） ・我が事・丸ごと地域共生社会推進人材養成研修（6 回） ・生活支援体制整備事業に係る研修会等（9 回） ・生活支援体制整備事業担当者会議（8 回） ・生活支援体制整備事業事務局会議（9 回） ・地域共生社会構築連携会議（2 回） ・豊後大野市四者（自治委員、市議、教育委員、農業委員）合同研修会 ・認知症プロジェクト会議（2 回） ・免許返納調査に係る会議

③-2 生活支援体制整備事業（第2層生活支援コーディネーター）

区分	三重	清川	緒方	朝地	大野	千歳	犬飼
第2層協議体の設置と運営	51件	25件	49件	21件	21件	56件	24件
地域課題の把握	65件	11件	47件	17件	9件	12件	8件
資源開発やネットワーク構築の推進	7件	2件	9件	0件	22件	21件	7件
その他	88件	13件	16件	12件	3件	4件	0件

④福祉委員の養成

項目	内容
福祉委員の設置・養成事業	・町ごとに福祉委員の委嘱を行い、自治委員や民生委員と連携して地域福祉活動に取り組めるよう研修を行った。

⑤地域住民主体の福祉活動の充実

項目	内容
いきいきサロン事業	<ul style="list-style-type: none"> ・いきいきサロンへボランティア講師等の派遣を行い、各サロンの活性化に努めた。 ・サロン開催状況に応じてサロン支援を行った。 ・サロンリーダー研修会を行い、サロン同士の情報交換と研鑽に努めた。 ・レクリエーション用具の紹介、貸出しを行った。

⑥災害時避難行動要支援者を支援する福祉施設連絡会の運営

市内の介護施設をはじめとした、災害時避難行動要支援者を受け入れ可能な各施設との連携・情報共有の場として開催を予定していたが今年度は開催を見送った。

⑦いきいき生活応援隊員・生活援助サポーターの養成事業

生活支援サービスの担い手を養成する目的で市からの委託を受け、いきいき生活応援隊員養成講座・生活援助サポーター養成講座をそれぞれ2会場で行った。

項目	内容
いきいき生活応援隊員養成講座	前期後期 2回開催 ・前期：7/31～9/5 5回(大野町) 受講者 10名 ・後期：10/16～11/13 5回(三重町) 受講者 16名(補講含む) ・修了者：17名
生活援助サポーター養成講座	前期後期 2回開催 ・前期：9/11～10/9 5回(大野町) 受講者 8名(補講含む) ・後期：11/27～12/25 5回(三重町) 受講者 6名(補講含む) ・修了者：11名

⑧生活援助サポーター派遣事業（市の受託）

項 目	内 容
生活援助サポーター派遣事業	市からの委託を受け、生活援助サポーター養成講座で養成したサポーターを利用者の生活支援・援助のため、ケアプランに基づき実施した。円滑な事業展開ができるよう生活援助サポーターと利用者の調整、支援を行った。

⑨地域福祉推進大会の実施

項 目	内 容
第8回地域福祉推進大会	R2.1.26 エイトピアおおの大ホールにて実施 表彰式 5部門29人の方を表彰 講演会 演題 「火星人と言葉の力」 講師 平岡禎之・ワッシーナご夫妻 発達障がい者への理解と接し方等についての講演 参加者 600人

⑩団体等運営・支援

項 目	内 容
共同募金会	助成団体と共に共同募金の意義について市民に周知を図り、円滑な運営活動を行った。
民生児童委員協議会	市民生委員児童委員協議会事務局として活動の支援を行った。
老人クラブ	市老人クラブ連合会事務局として老人クラブ活動の支援を行った

(2) ボランティア市民活動センター事業

①ボランティアセンター事業

項 目	内 容
ボランティアコーディネーター研修	6月8日大分県総合福祉会館にて開催の同研修会に参加。講師の古賀桃子氏による『みんながしあわせになれるボランティアコーディネーション力について』話を聞きながらのグループワークを実施。
夏のボランティア体験月間	市内5つの施設（高齢者福祉施設・児童福祉施設等）で11名の参加者がボランティア体験。広報紙にて活動報告の紹介を行った。
ふれあい学習	今年度の実施は無し
大分県ボランティア・NPO推進大会	10月17日大分市トキハ会館にて第17回目の同大会が開催され市内より会員12名が参加。ハンズオン埼玉の西川正氏の基調講演・県内学生の様々なボランティア活動報告等を聞き研修した。
フードバンクおおいた	年2回（夏・冬）フードドライブへの参加協力。 市内、子ども食堂やくらし支援係への繋ぎ。
災害ボランティアセンター事業	県社協主催の災害ボランティアセンター運営リーダー研修会に参加し災害時の対応について学んだ。

② ささえあいパートナー事業（有償ボランティア事業）

養成講座を修了したサポーター（お助け会員）が身の回りのちょっとした困り事を手助けしてもらいたい人（お願い会員）に有償で支援を行う相互援助活動の援助を行った。

項 目	内 容
ささえあいパートナー事業	<ul style="list-style-type: none"> ・実態把握を行い、地域でのお願い会員の発掘を行った。 ・お願い会員とお助け会員のコーディネートを行い、互いが円滑な活動ができるように努めた。 ・ありがとうチケットの販売 実人員 17人 （58冊）

(3) 福祉サービス利用援助事業（日常生活自立支援事業）

「福祉サービス利用援助事業」においては利用者や支援者と相互に情報共有を行う事で利用者に対して適切なサービス提供の実施し利用者からの希望に対しても各関係者・機関と協力し臨機応変な対応をすることで問題解決を図った。また利用者と支援員とで円滑な援助ができるように努めた。

（単位：人）

区 分	三重	清川	緒方	朝地	大野	千歳	犬飼	合計
支援員	6	1	2	1	1	2	1	14
利用者数	42	2	3	4	4	2	3	60

3. 総合相談センター

地域包括支援センター

(1) 包括的支援事業

項 目	内 容		
介護予防ケアマネジメント事業	(通所型サービス)	いきいき介護予防教室	66 件
		げんき学校	170 件
		元気クラブ	1,408 件
	(訪問型サービス)	在宅生活助言事業	3 件
		自立支援伝道師派遣	0 件
		生活援助サポーター	40 件
	介護認定非該当者の対応	12 件	
総合相談支援事業	三職種・ランチ相談件数		10,826 件
権利擁護事業	高齢者虐待への対応		143 件
	成年後見制度の活用促進		47 件
	日常生活自立支援事業への活用促進		68 件
	消費者被害の防止		8 件
	困難事例（権利擁護）対応		77 件
	老人福祉施設等への支援		125 件
包括的・継続的ケアマネジメント事業	病院・施設訪問		80 件
	居宅介護支援事業者連絡会		4 回
	介護予防プラン・評価等作成指導		467 件
	ケアマネ支援（助言・指導・同行）		147 件
	ケース会議開催支援又は参加		33 件
地域ケア会議推進事業	地域ケア会議開催		31 回
	ケアマネジメント向上会議		4 回
	地域ケア会議運営検討会への協力・参加		9 回
認知症初期集中支援推進事業	チーム対象者数		12 件
	訪問件数		52 件
	チーム員会議		38 件
	家族、親戚、関係機関連携状況		154 件
	普及啓発		1 件
認知症地域支援推進業務	普及啓発の推進	実施 33 回（打合せ等 30 回）	
	切れ目のない医療・介護等の提供	実施 20 回（打合せ等 30 回）	
	若年性認知症への支援	実施 19 回（打合せ等 41 回）	
	介護者等へのケアの充実	実施 41 回（打合せ等 11 回）	
	高齢者にやさしい環境づくりの推進	実施 28 回（打合せ等 46 回）	
生活支援体制整備事業	生活支援コーディネーター（地域支え合い推進員）との連携		
	生活支援体制整備事業に係る協議		44 回
	研修（先進地視察他）		10 回
	協議体設置と運営		
	生活支援体制整備事業に係る協議		21 回
在宅医療・介護連携推進事業	医療介護連携会議への参加		18 回
	医療介護連携研修会への参加		3 回
	関係機関との連携状況		1,387 件
	病院訪問（カンファレンス・受診同行他）		88 件

(2) 指定介護予防支援事業

項 目	内 容			
指定介護予防支援事業	介護予防支援	包括分	1,477 件	委託分 3,892 件
	ケアマネジメント A			
	要支援者	包括分	1,029 件	委託分 1,049 件
	事業対象者	包括分	339 件	委託分 1 件
	ケアマネジメント B			
	要支援者			包括のみ 26 件
	事業対象者			包括のみ 1,428 件

くらし支援センター

(1) 生活福祉資金貸付事業

低所得世帯や障がいを持つ人などへ、経済的自立と生活意欲の助長・社会参加の促進を図るために事業を実施した。単なる融資ではなく福祉目線の支援、特に生活困窮者自立相談支援事業との関わりを重視した。

(単位：件)

項 目	三重	清川	緒方	朝地	大野	千歳	犬飼	合計
新規取扱件数	10	2	2	1	7	2	0	24
継続取扱件数	35	6	14	1	4	5	1	66
総合支援資金	5	0	1	0	0	0	0	6
臨時特例つなぎ資金	1	0	0	0	0	0	0	1
福祉資金福祉費	10	1	7	0	4	2	1	25
緊急小口資金	12	4	1	1	0	2	0	20
教育支援資金	7	1	5	0	0	1	0	14
不動産担保型生活資金	0	0	0	0	0	0	0	0

また豊後大野市社協の事業として、生活資金の調達が困難な生活困窮者に対して応急の貸付を行なうことにより、当面の対応と自立を促進し、もって地域社会の福祉増進と民生安定を図ることを目的として5万円を上限に当該事業を実施した。

(小口資金貸付事業の状況)

(単位：件)

	三重	清川	緒方	朝地	大野	千歳	犬飼	合計
新規取扱件数	2	0	0	0	1	0	0	4
継続取扱件数	7	1	3	0	1	0	0	14

(2) 生活困窮者自立支援事業

経済的理由による生活困窮者の支援をはじめ、様々な課題を抱える相談者に対応するため、伴走型の支援を心掛けて丁寧・粘り強く話を聞くことで複雑に絡まった問題を洗い出し、直接の支援や必要に応じて担当機関へ繋ぎ、連携して課題の解決に当たった。また今後の地域共生社会の構築に向けて中核的な考え方を有する事業であるため、各種研修会等に参加してその知識を深めた。

(新規相談件数 (実数))

男性	女性	不明	計
48人	35人	5人	88人

(年代別相談件数)

年代	人数	年代	人数
～10代	0人	50代	11人
20代	3人	60～64歳	14人
30代	11人	65歳以上	24人
40代	17人	不明	8人

(3) 被保護者等就労支援事業

65歳未満の生活保護受給者のうち、就労が可能と考えられる者に対して支援を行った。ケースワーカーと定期的に自宅訪問する事を通じて、近況を確認しながら求人情報を提供したり、ハローワークや面接等に同行したりするなどして就労活動を支援した。今年度対象者9名の内、就労者2名(1名経過観察、1名転出)、65歳到達により支援終了2名。